

2/20

慶應義塾大学経済学部 井手 英策教授 講演会

「富山は日本のスウェーデン」の著者である慶應義塾大学教授の井手 英策氏の講演会が氷見市役所で開催されました。

自身と富山や氷見市との縁を皮切りに、人口規模に比べて富山が経済的に豊かであるのは、共働き世帯が多いことなどがその要因であることを分かりやすく語りました。

そして、富山が大切にしてきた三世代同居などの家族のカタチや、地域社会の強い結びつきは、全ての人が働く社会が到来している現在、一つの優れたモデルになるとの考えを示されました。

最後には、市役所などの公的機関が担うべき役割や責任についても強調され、70 人余りの市民や市職員は、熱心に聞き入っていました。



2/23

氷見をまるごと体験！堪能！ からしま蚤の市・HIMI 体験 FESTA

漁業文化交流センターで「からしま蚤^{のみ}の市」と「HIMI 体験 FESTA」が同時開催され、市内外多くの家族連れらで賑わいました。

からしま蚤の市では、38 店舗の個性豊かなお店が所狭しと並び、商品を販売。飲食やクラフト雑貨など各店舗自慢の商品を求める来場者が朝から行列を作りました。

HIMI 体験 FESTA では、ブリや獅子舞、マコモタケなどの氷見をモチーフにしたビーズを使った「万華鏡づくり」や、流木と貝で作る「写真たて」など 10 種類の体験ブースを設置。子どもだけではなく大人もワクワクした様子でモノづくりに取り組み、氷見の魅力に触れていました。

次回は「うみのアパートマルシェ」を 5 月 19 日(日)に開催します！皆様のご来場をお待ちしております。



2/25

地元の偉人「斎藤 弥九郎」 ゆかりの地を巡る校外学習

湖南小学校の6年生 29人が仏生寺出身の剣豪「斎藤 弥九郎」について学ぶため、朝日山公園、生誕地の脇之谷内集落、十三中学校にある市内3カ所の銅像やゆかりの地を見学しました。

教育委員会 小谷 超課長補佐は、斎藤が江戸時代三大道場の一つ「練兵館」を開き、千葉 周作や桃井 春蔵とともに「幕末の三剣豪」と言われていた事などを紹介しました。

児童は、熱心に話を聞きながらメモを取り、地元の歴史や文化について理解を深めました。



3/1

大規模な災害に備え 災害時資機材リースの協力に関する協定締結

氷見市と市内のリース関連企業 6社が災害時における資機材リースの協力に関する協定を締結しました。

これは、^{おうちがた} 邑知瀉断層帯による地震などを想定した大規模な災害発生時に、災害復旧や避難所の設営、自衛隊などの応援部隊の受け入れ拠点設営のために必要となる重機、発電機、投光機、建設資材などを、市が優先的に提供を受け、迅速な対応に備えるためのものです。

また、市にはリース関連の協会や組合などがなく、強力な体制を保持するため市内に所在する複数の事業社と締結しました。

今後、協定を締結した(株)旭重機工業、(株)グランテック、コマツ富山(株)、(有)西条商会、千代田機電(株)、(有)トミケンキと協力し、災害発生に備えて取り組みます。



3/5

安全に登下校を 新1年生に連絡袋を贈呈

氷見市防犯協会が市内の新1年生全員に防犯啓発用連絡袋を贈呈しました。

これは、「いかのおすし」のチラシと笛が入った連絡袋を子どもたちに贈ることで、子どもたちの防犯意識を高めることを目的に、毎年行っているものです。

代表の上伊勢保育園の田中 ^{きねあつ}美篤さんと荒瀬 那奈さんは「知らない人についていかない」と元気いっぱい、約束をしました。

※「いかのおすし」の約束

- 知らない人について **い** **か** ない
- 知らない人の車に **の** らない
- あぶないと思ったら、**お** おきな声を出す
- こわいと思ったら、**す** ぐ逃げる
- おうちの人に **し** らせる



3/13

ふるさと氷見の魅力を発信！ 「みんなで学ぼう！ふるさと氷見」ホームページ開設

氷見の魅力を紹介する、「ふるさと氷見ホームページ」を開設しました。

これは、「ふるさと氷見を愛し、次代を担う人づくり」を目指し、各小中学校や地域で行っている活動を市教育総合センターが積極的に発信するものです。

ホームページでは、小中学校で使用している教材「ふるさと氷見」のデジタル版を紹介。氷見の特産や農業・漁業、祭りや伝統行事、天然記念物「イタセンパラ」などを、画像と動画で分かりやすく紹介しています。

他にも、地域や各小中学校の活動を動画で伝える「ひみティーンズチャンネル」や、英語版のクイズ「ふるさと氷見クイズ」などのコンテンツがあります。

皆さん、ぜひご覧ください。

※市ホームページ「ふるさと氷見 ホームページ」で検索！

